

2019年度 決算説明会

第96期（2019年4月1日～2020年3月31日）

2020年5月20日



太平洋工業株式会社

目次

1. 2019年度実績
2. 新型コロナウイルスに対する取組み
3. 中長期戦略の取組み

本資料取り扱い上の注意点

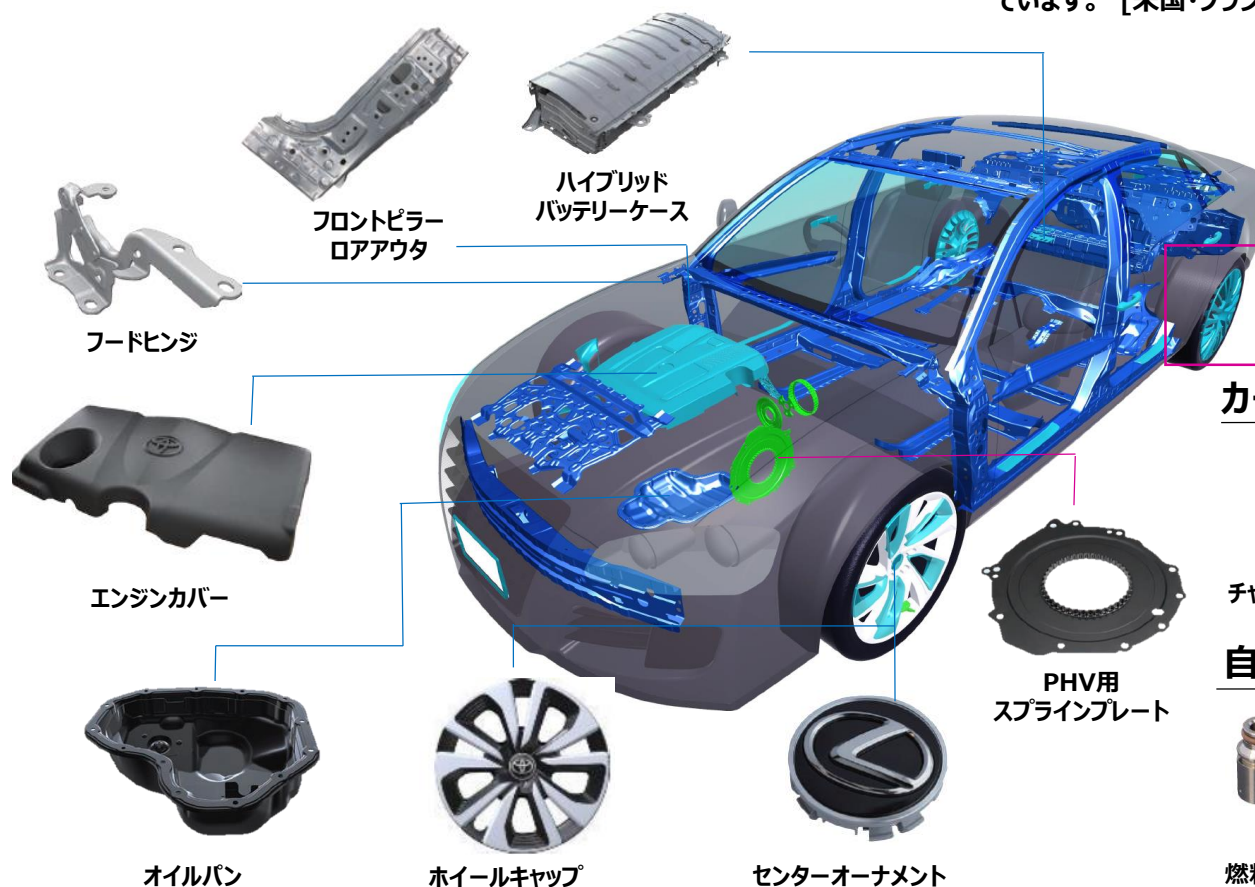
本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

事業と主要製品の概要

1930年創業、格付「A－安定的」、国内8工場・海外8カ国・18社

プレス・樹脂製品事業

軽量化と高剛性化を両立させる超ハイテン材の成形技術をもつプレス製品、フィルム加飾技術やNV性能制御技術などで多彩な製品を提供する樹脂製品などを製造しています。[米国・中国・台湾・タイ]



バルブ製品事業

複数の世界トップシェア製品をもつバルブ製品、世界で需要増加が続いているタイヤの空気圧を監視するシステムのTPMS製品や、鍛圧製品などで構成されています。また、航空機、産業機械、エネルギー産業向けバルブも製造しています。[米国・フランス・ベルギー・英国・中国・台湾・韓国・タイ]

タイヤバルブ関連



カーエアコン関連



自動車以外の部品



- 1. 2019年度実績**
- 2. 新型コロナウイルスに対する取組み**
- 3. 中長期戦略の取組み**

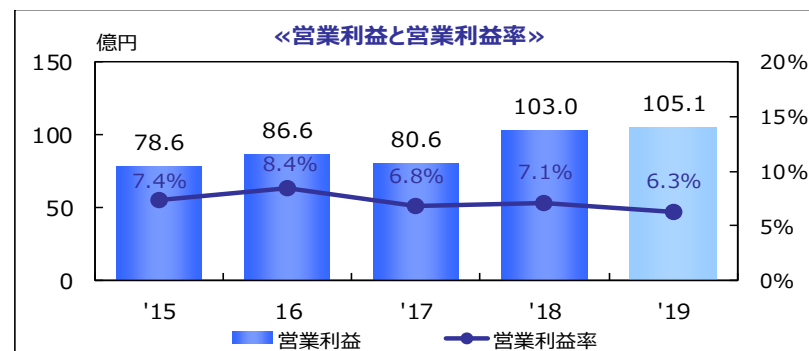
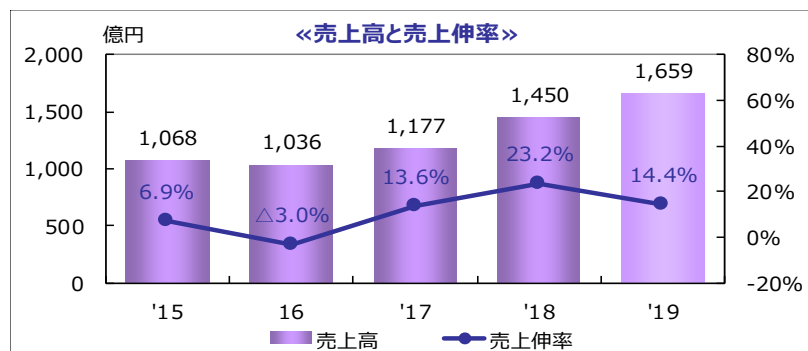
1-1 連結業績実績

売上高・営業利益は増収増益（過去最高）、
特別損失により親会社当期純利益は減益、20年度予想は未定

[百万円]

		18年度	20年1月 発表値	実績	連単 倍率	19年度			
						前期比		発表値比	
						増減	増減率	増減	増減率
売上高	過去最高	145,030	160,000	過去最高 165,969	1.8	20,939	14.4%	5,969	3.7%
営業利益	過去最高	10,307	10,000	過去最高 10,511	2.0	204	2.0%	511	5.1%
経常利益	過去最高	11,767	11,000	11,130	1.5	△637	△5.4%	130	1.2%
※1 親会社当期純利益	過去最高	8,730	8,000	7,256	1.8	△1,473	△16.9%	△744	△9.3%
売上高営業利益率		7.1%	6.3%	6.3%		△0.8%		0.0%	
ROE		9.3%	—	7.5%		△1.8%		—	
ROA (営業利益ベース)		5.7%	—	5.2%		△0.5%		—	
一株当り純資産	(円)	1,590	—	1,614		24		—	

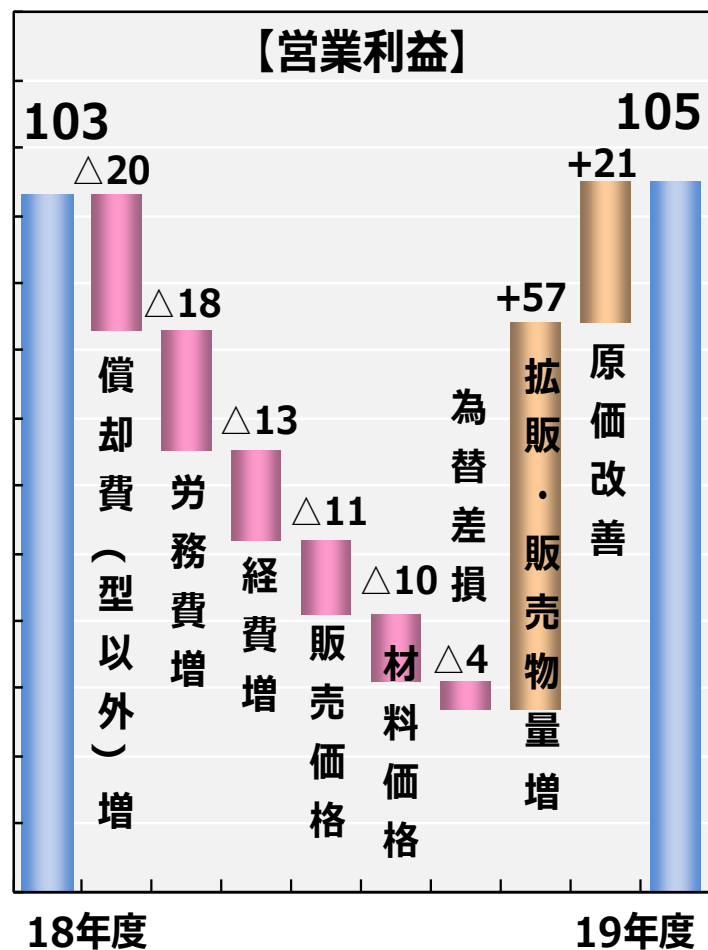
※ 1.「親会社当期純利益」は、正式名称である「親会社株主に帰属する当期純利益」を短縮して表示しております。



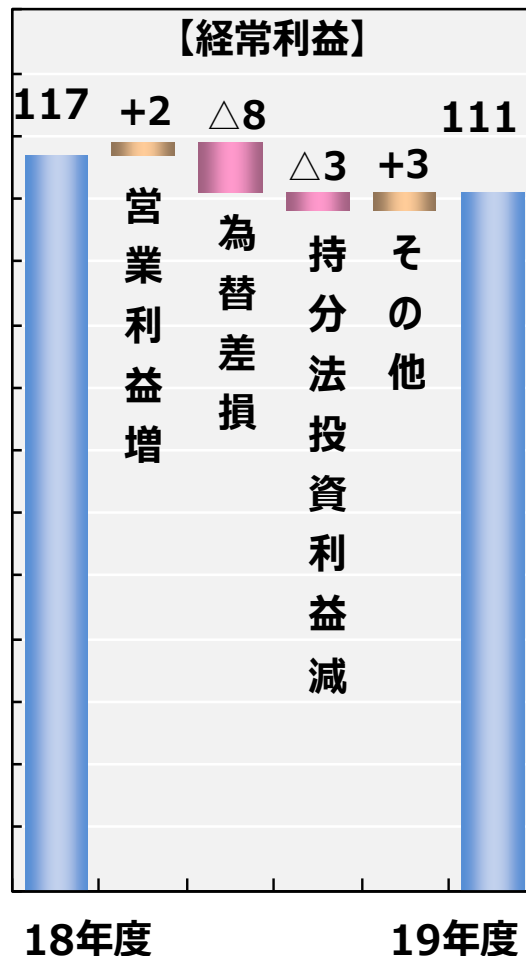
1-2 連結 営業・経常・当期純利益増減要因

新製品拡販・販売物量増が增收増益に大きく貢献

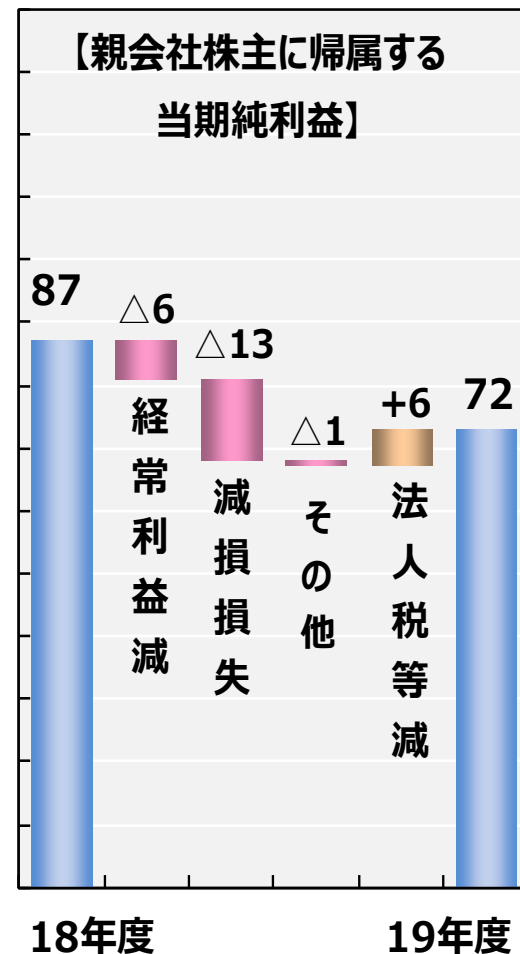
営業利益+2億円



経常利益△6億円



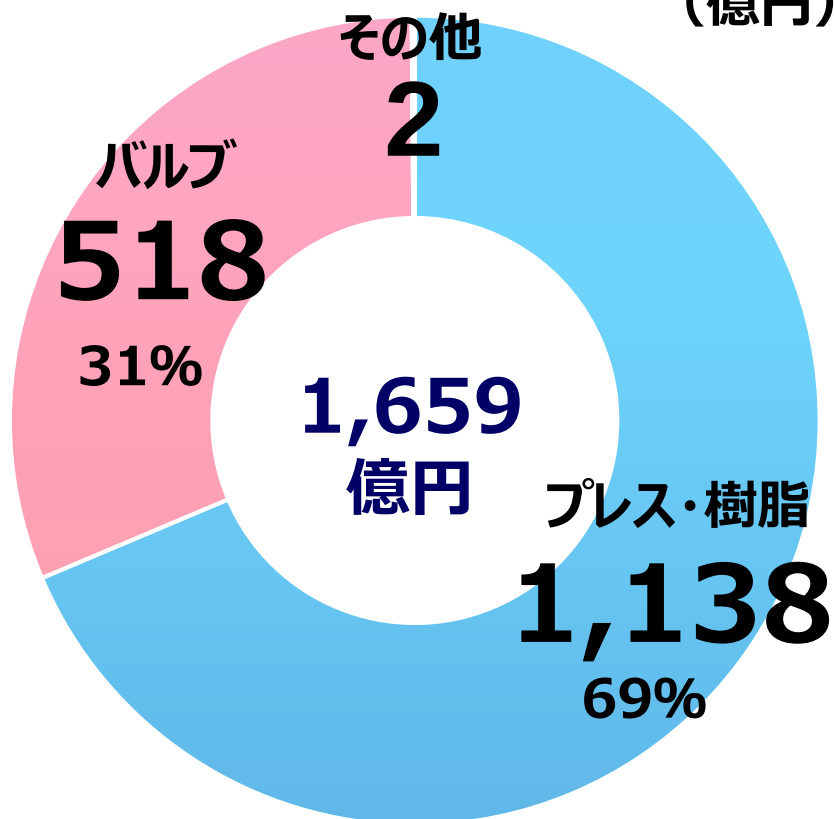
当期純利益△15億円



1-3 2019年度 連結セグメント売上

事業別売上高

(億円)



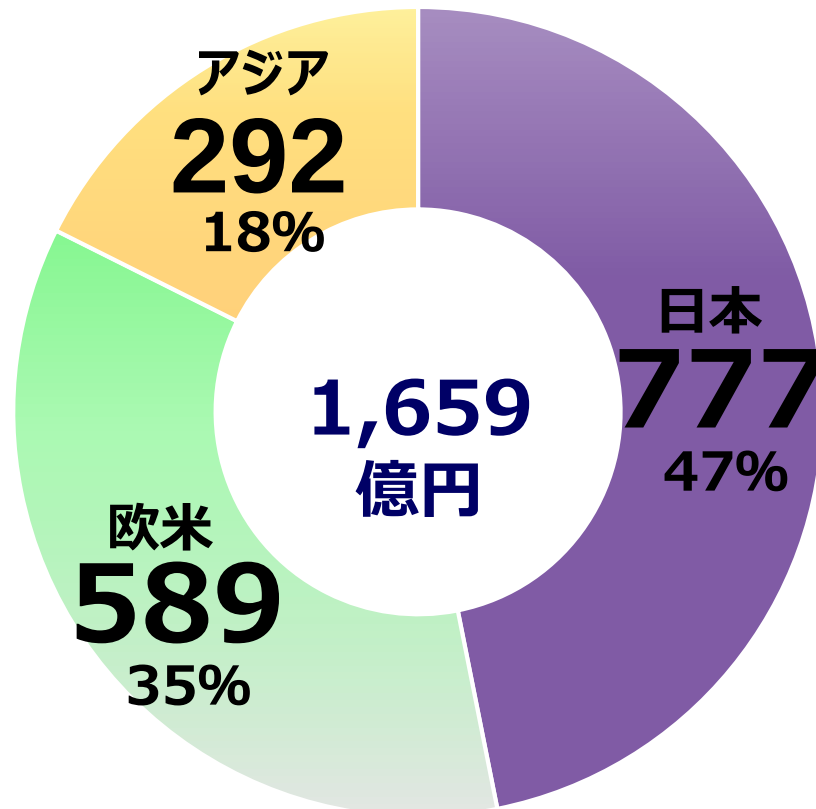
【プレス・樹脂事業】 自動車用プレス・樹脂製品

【バルブ事業】 タイヤバルブ、空調用等バルブ、TPMS

【その他】 情報・サービス

地域別売上高

(億円)



【日本】 中部・九州・東北

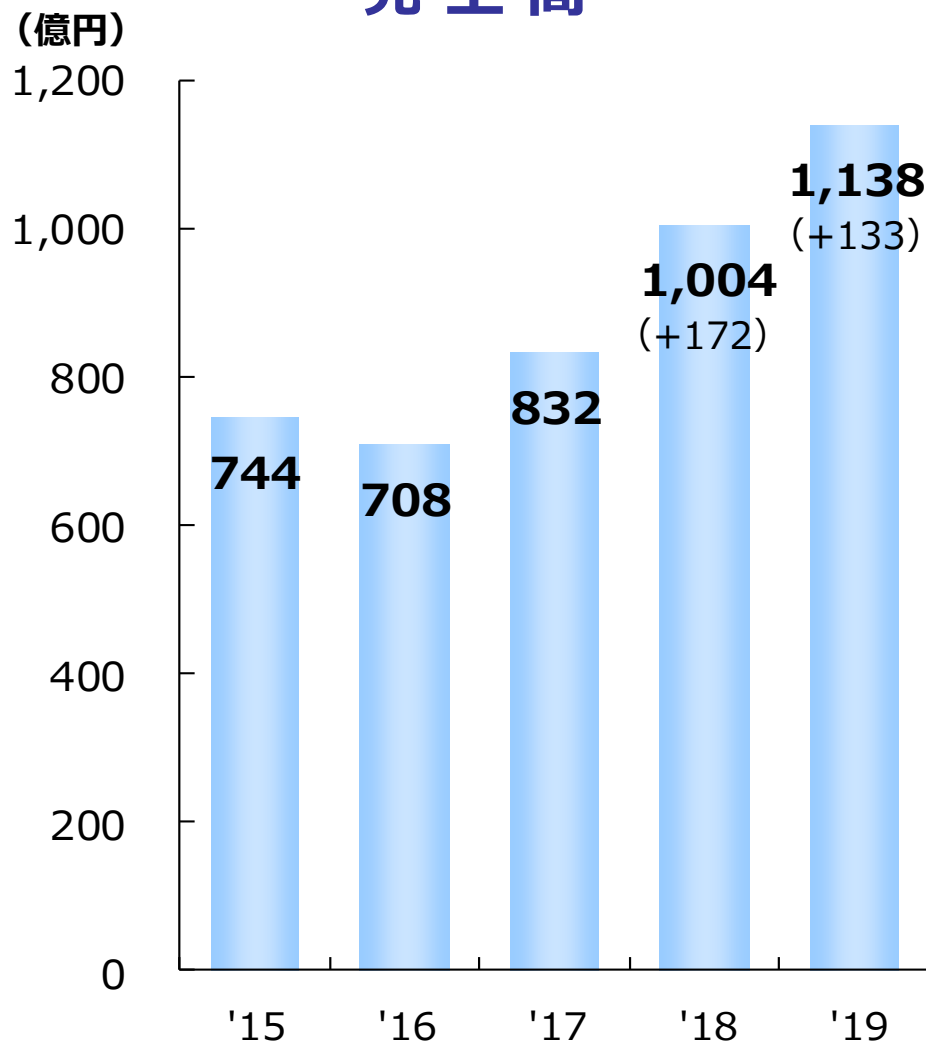
【欧米】 米国・フランス・ベルギー

【アジア】 台湾・韓国・タイ・中国

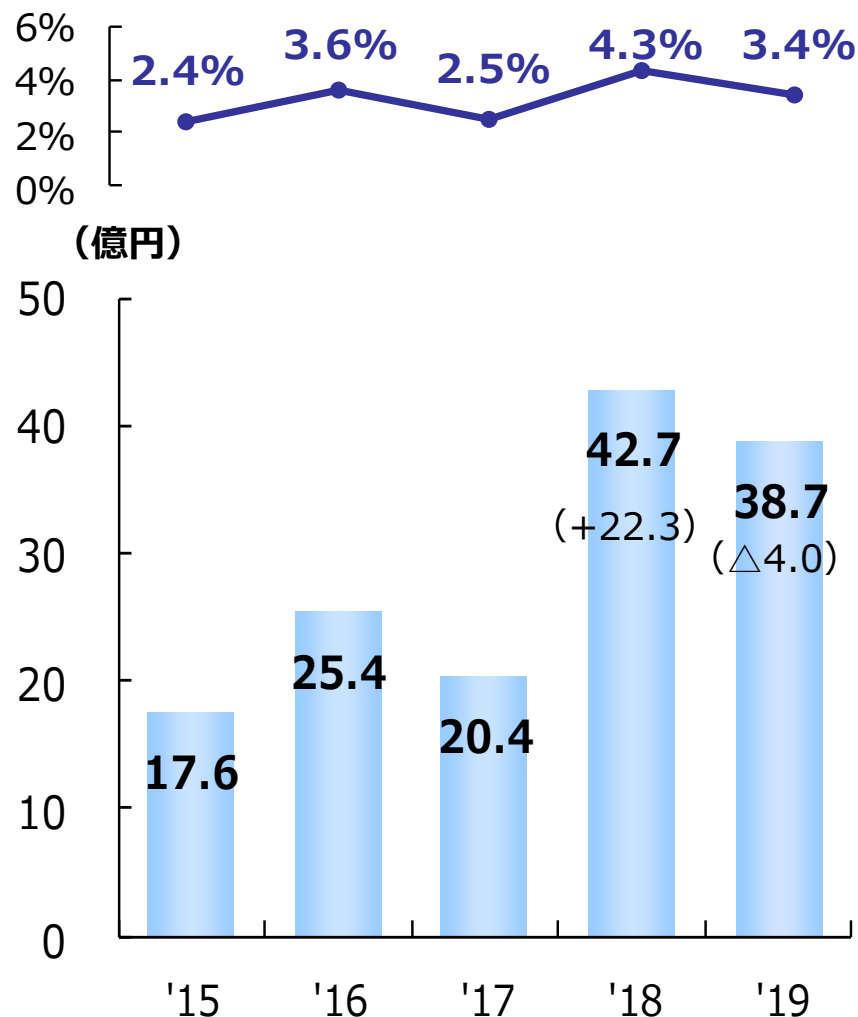
1-4 事業別セグメント：プレス・樹脂製品事業

新製品売上が寄与し増収、償却負担等により減益

売上高



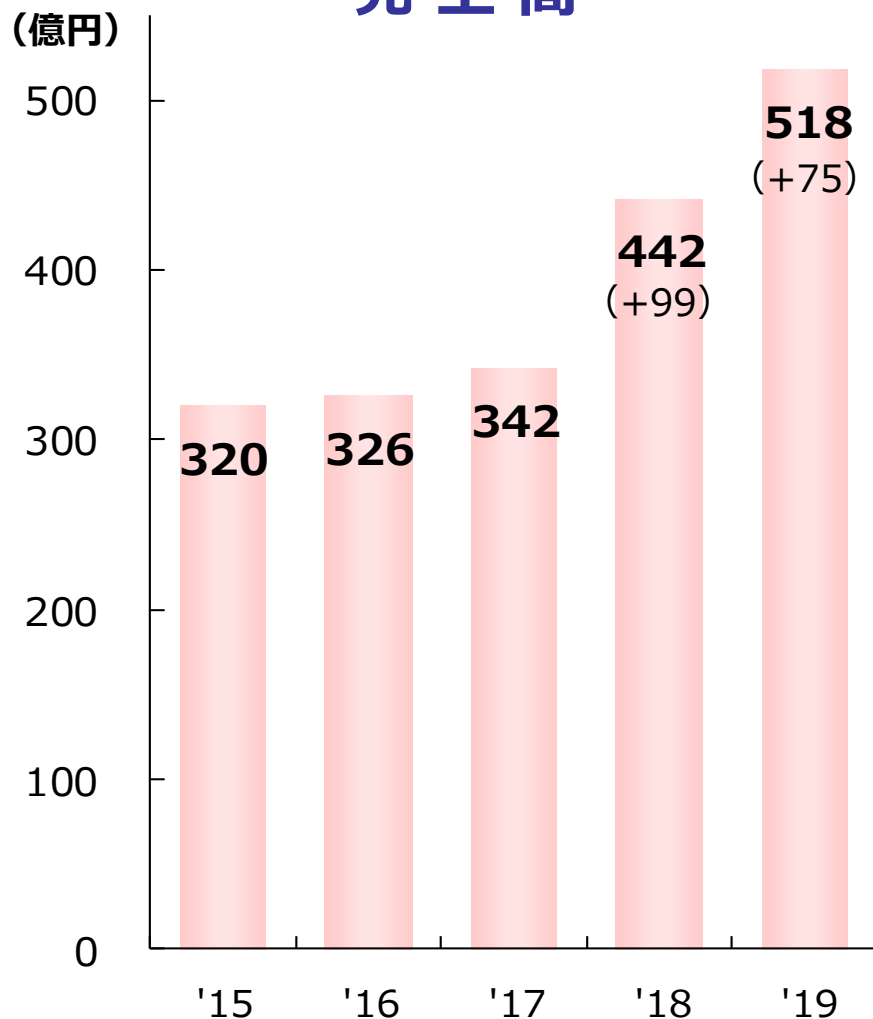
営業利益



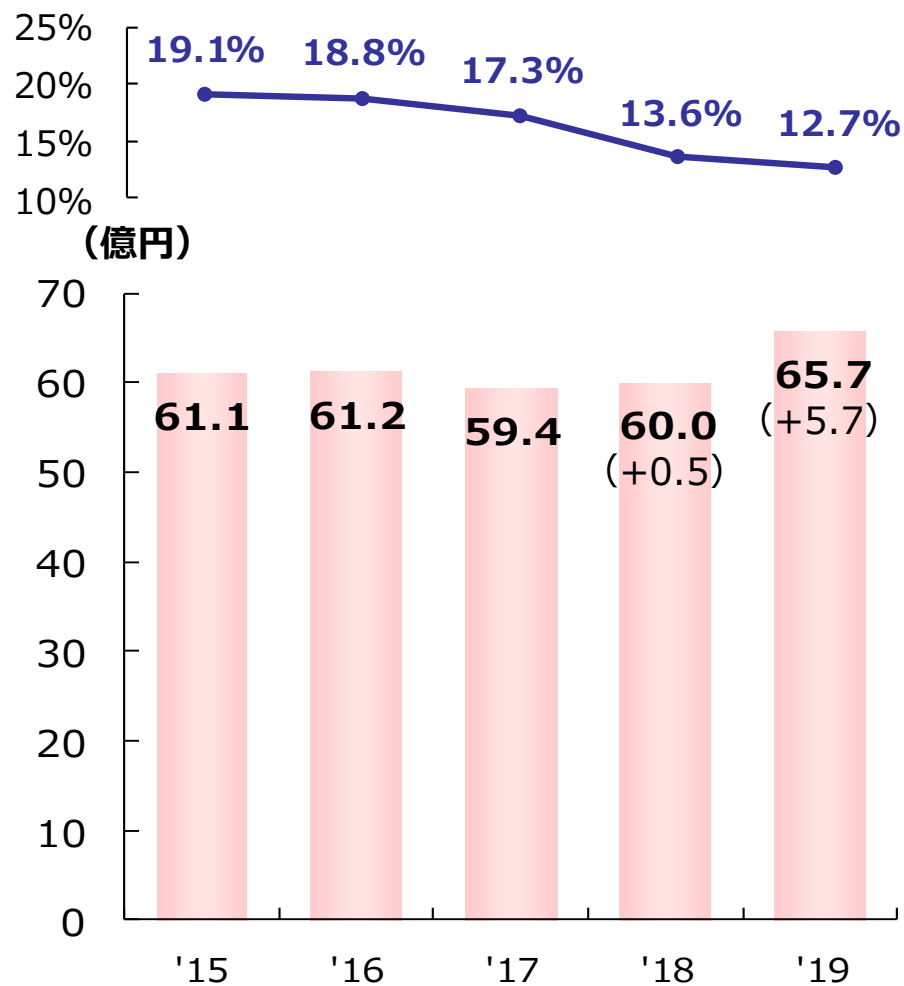
1-5 事業別セグメント：バルブ製品事業

米国・フランスのSchrader社の通期連結により、増収増益

売上高

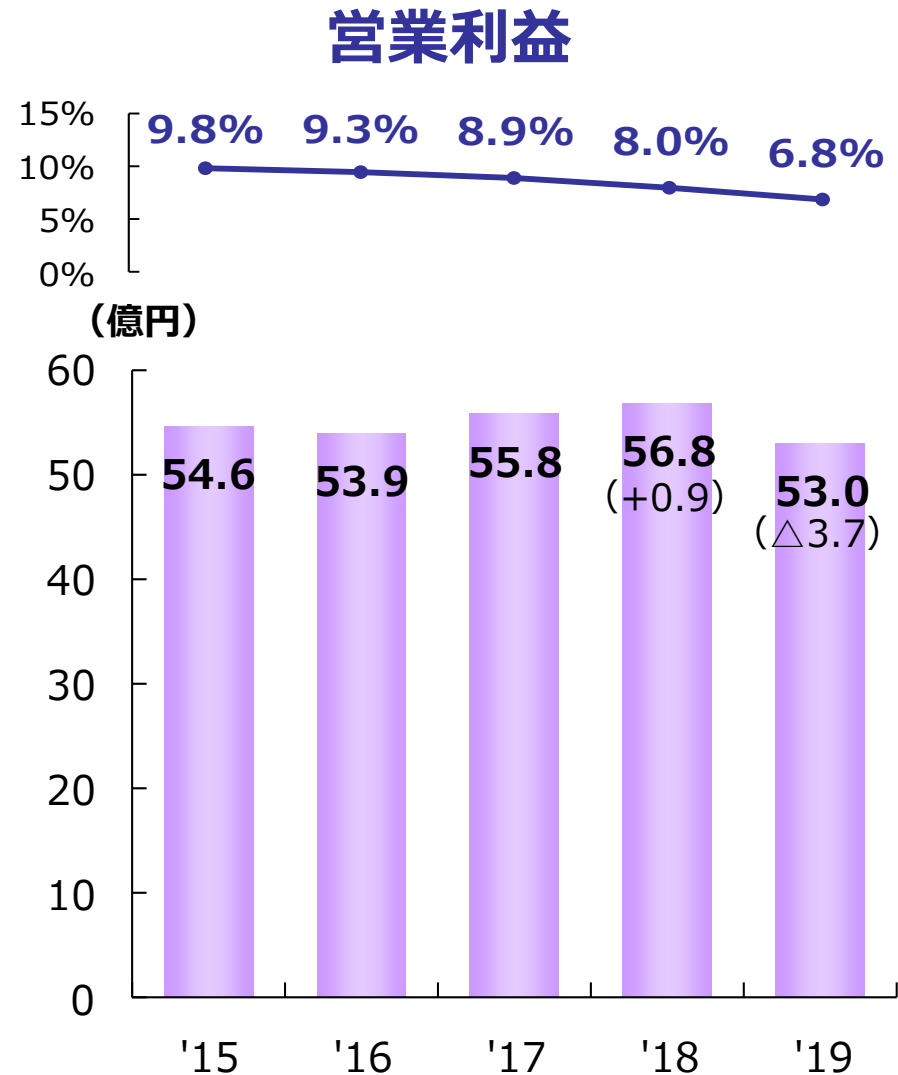
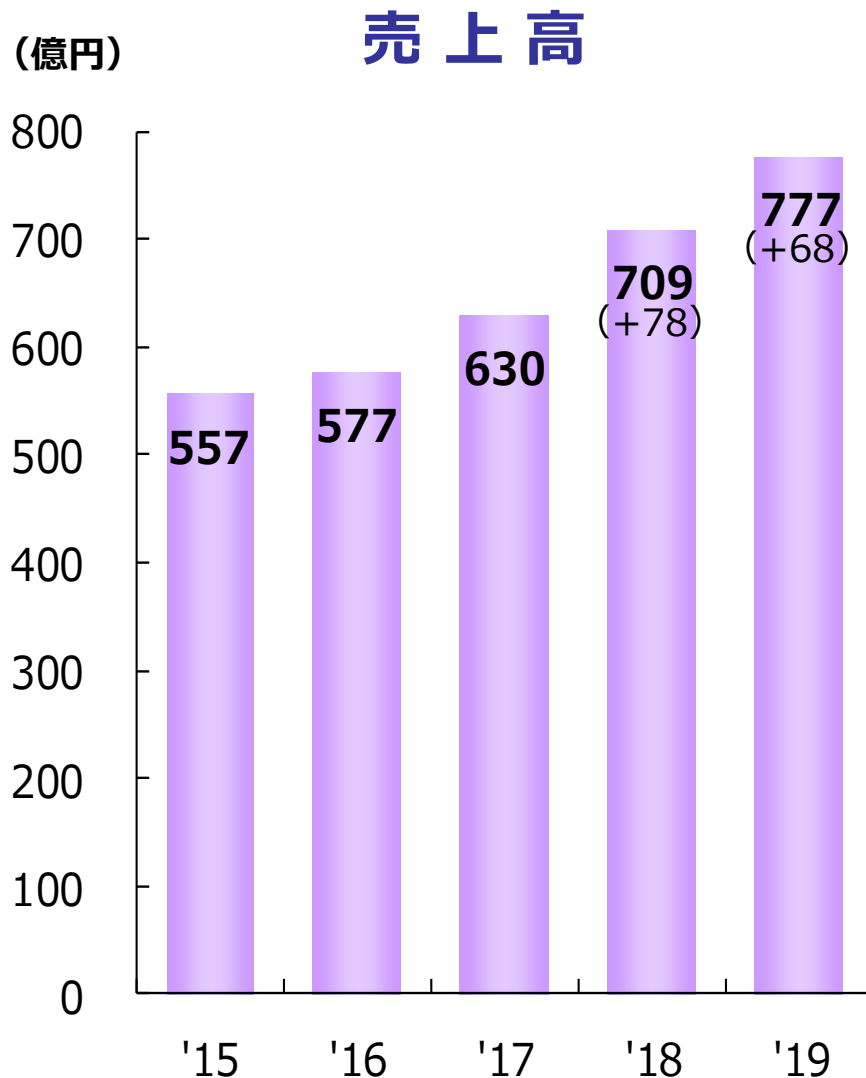


営業利益



1-6 地域別セグメント：日本

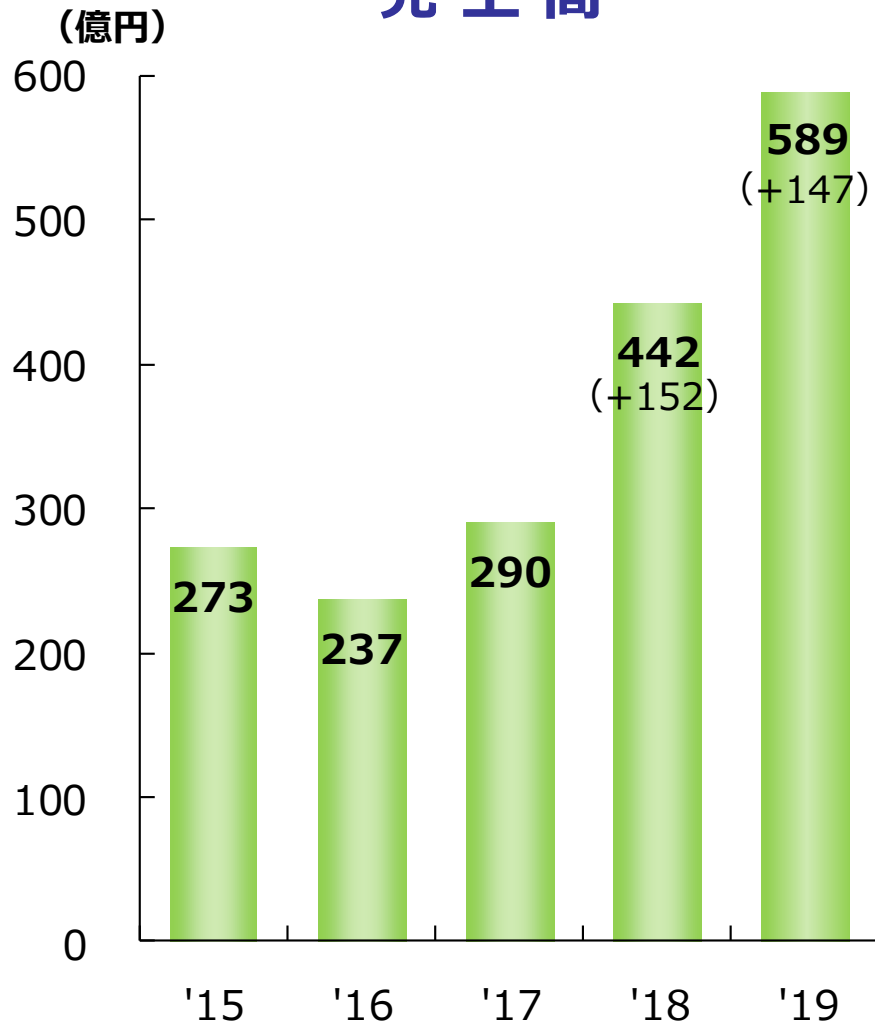
売上高は増収、償却増・為替差損等により減益



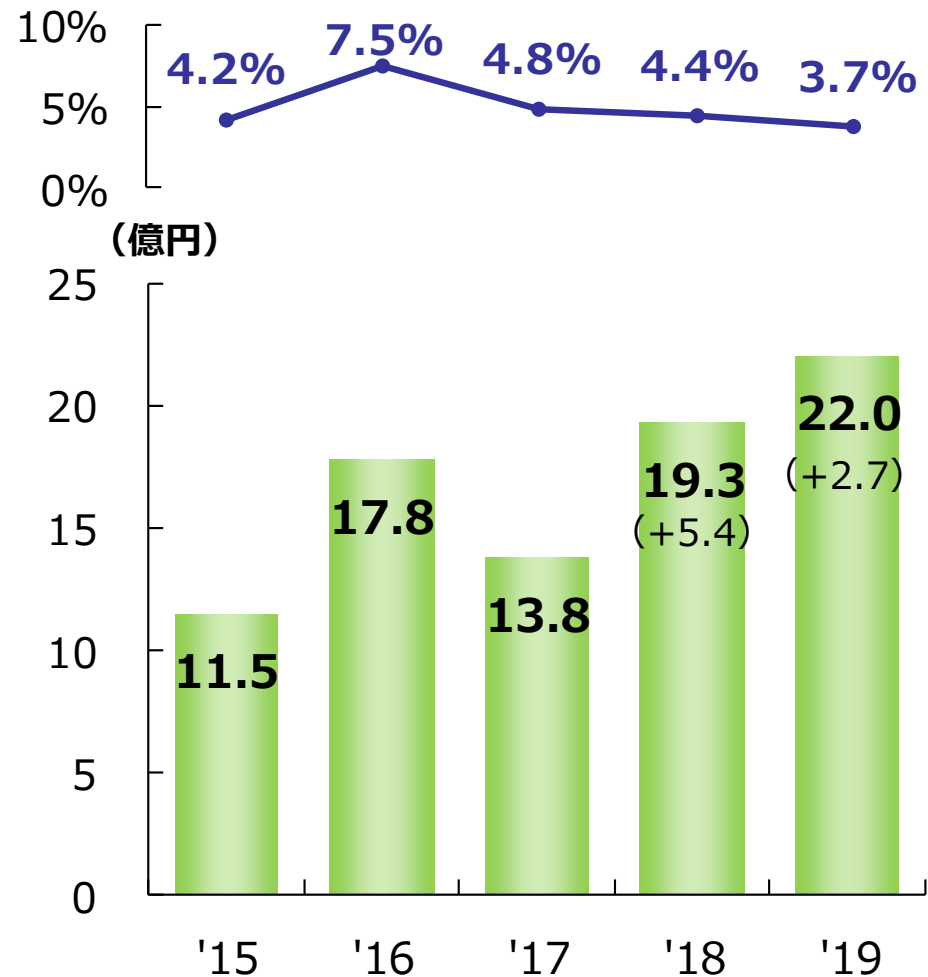
1-7 地域別セグメント：欧米

米国・フランスのSchrader社の通期連結により、増収増益

売上高



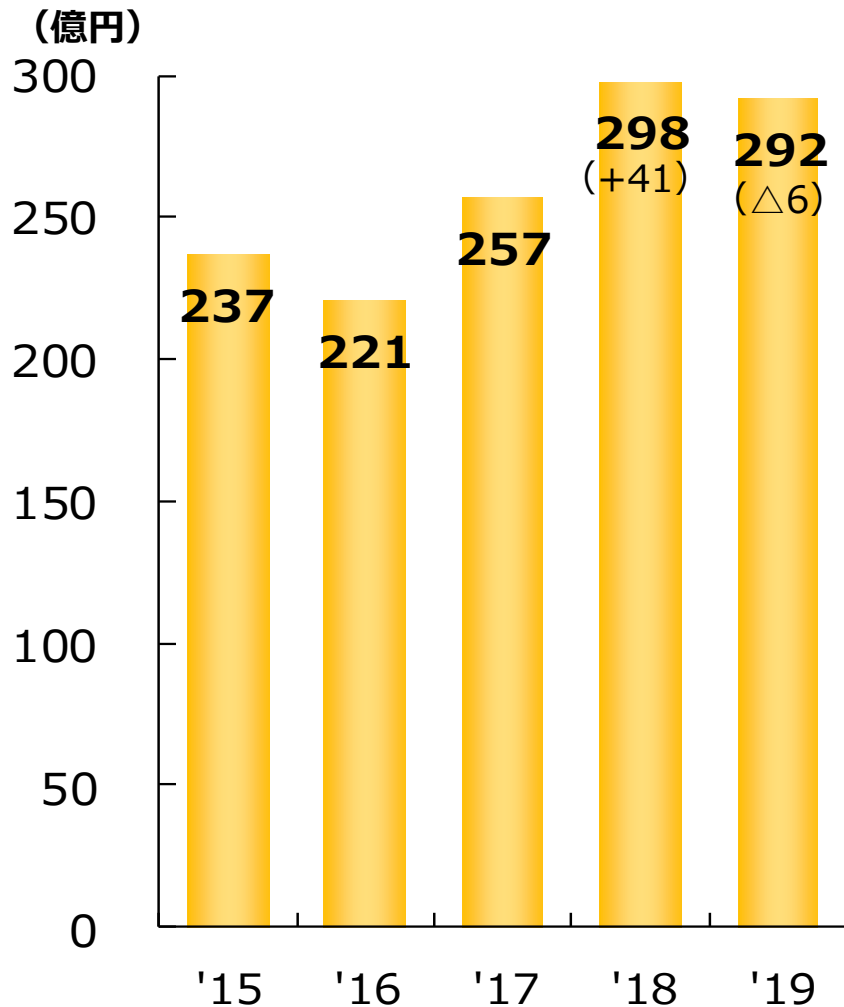
営業利益



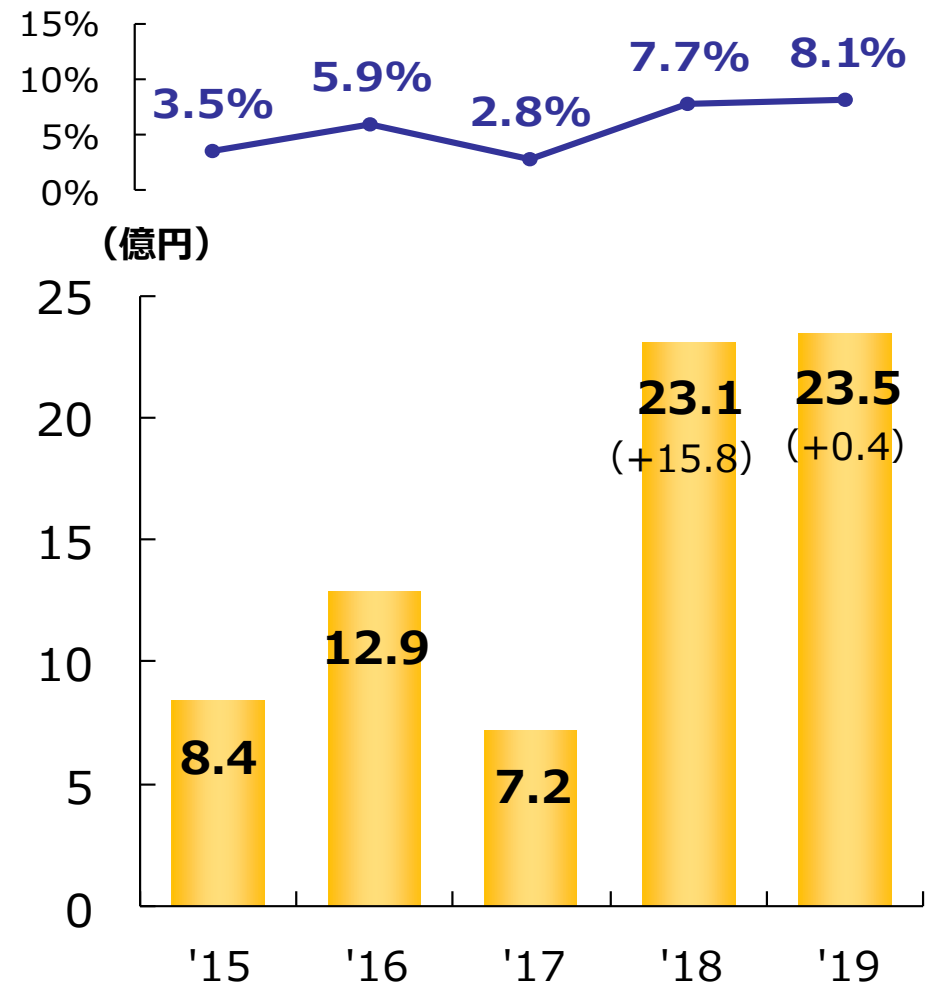
1-8 地域別セグメント：アジア

為替換算差により減収なるも利益は微増

売上高



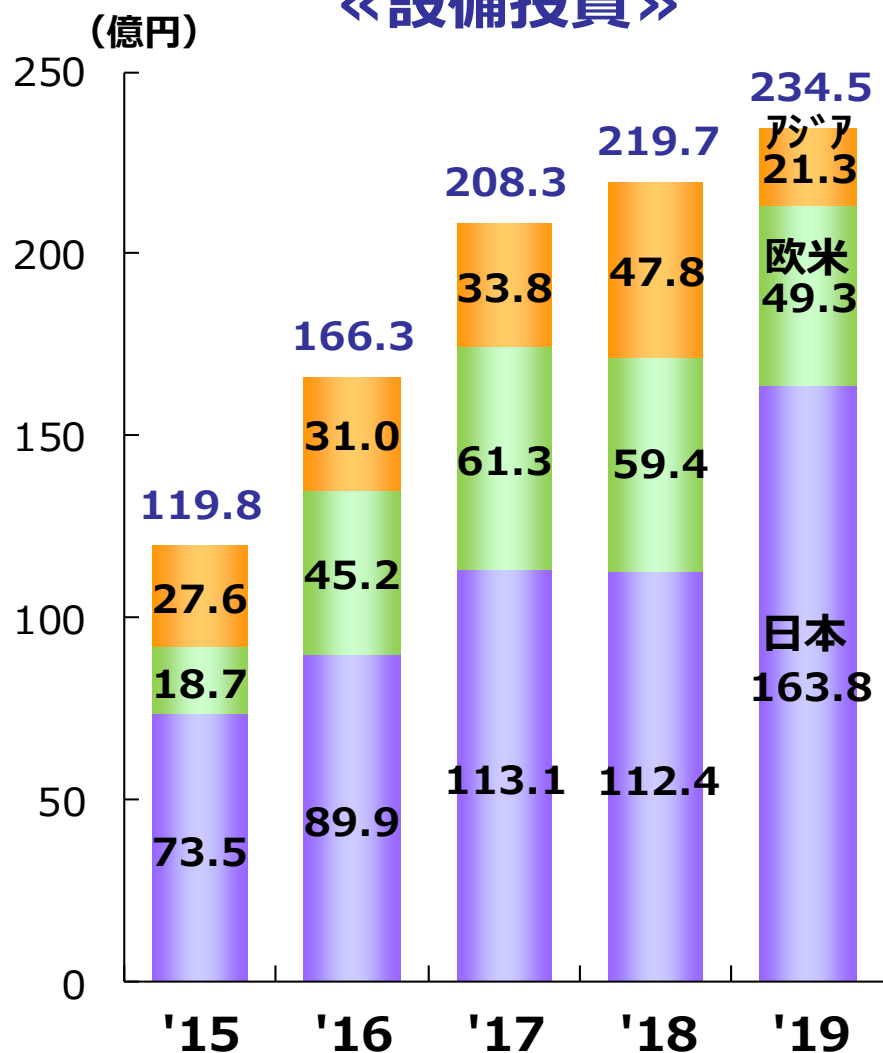
営業利益



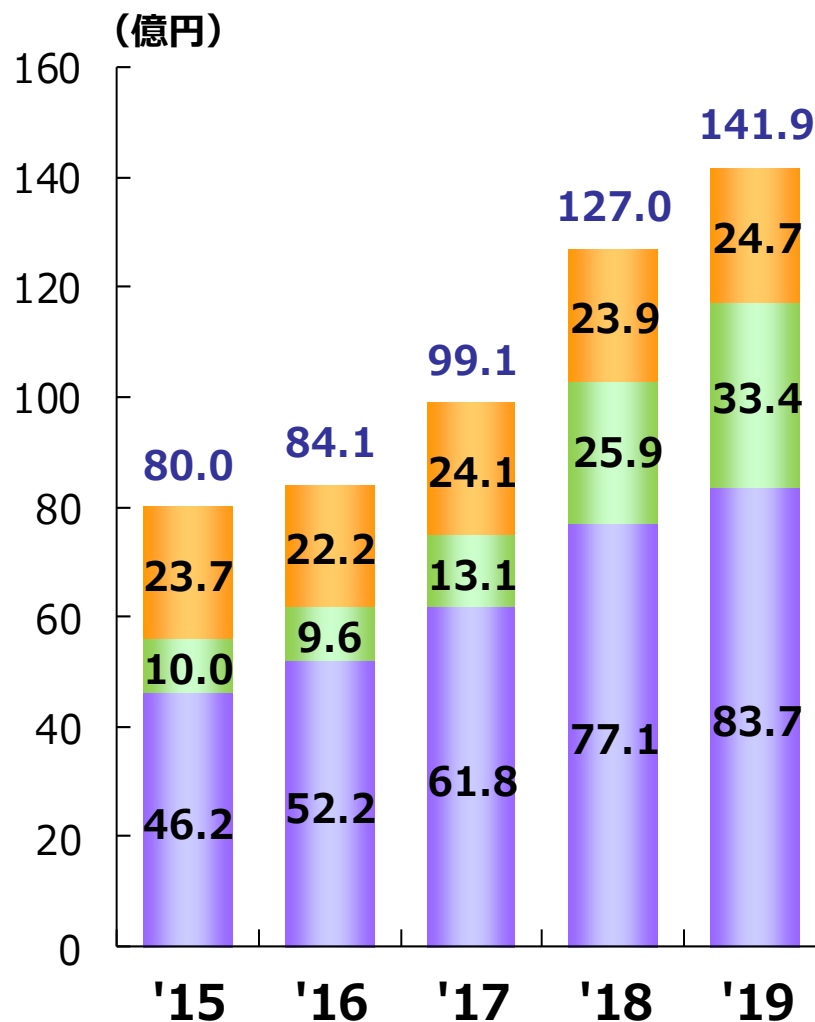
1-9 連結設備投資・減価償却費

戦略的な設備投資により、償却費が増加

＜＜設備投資＞＞



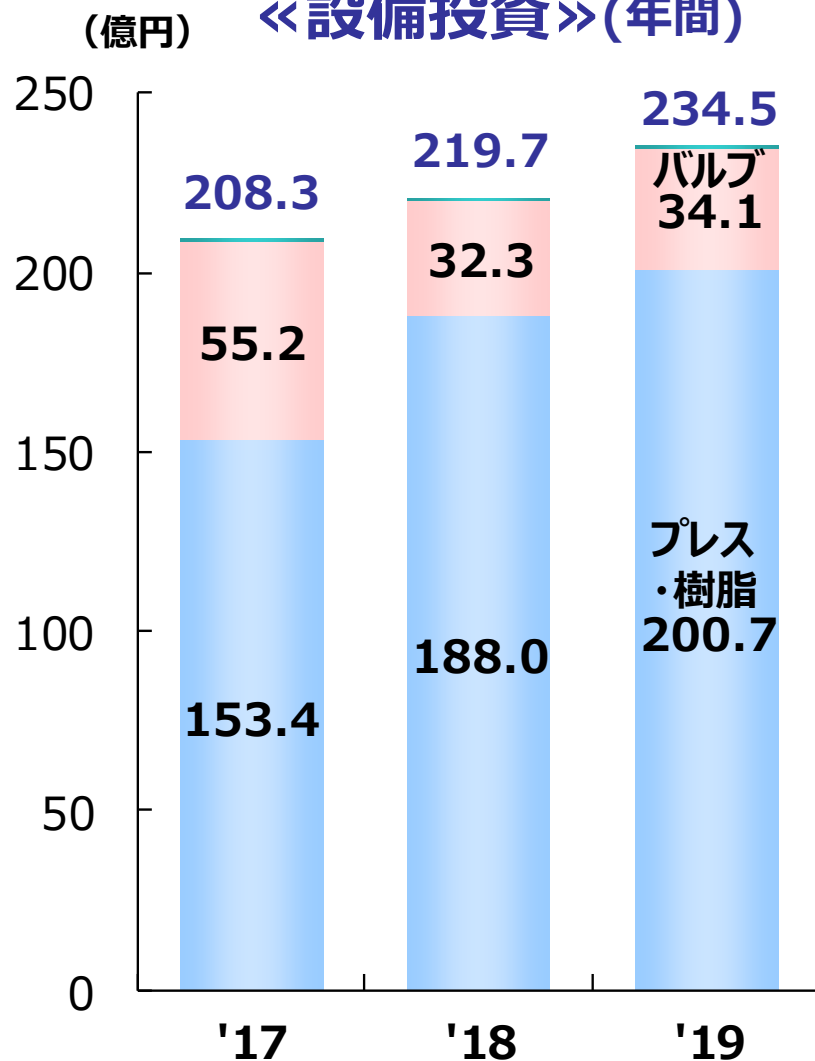
＜＜減価償却費＞＞



1-10 主な戦略投資の内容

超ハイテン・TPMS等、戦略的投資を推進

「設備投資」(年間)



「主要アイテム」

■バルブ事業

TPMSライン増設 (米・中)

Schraderシナジー投資 (米・仏)

鍛圧能力増強 (日)

アルミダイカスト能力増強 (韓)

■プレス・樹脂事業

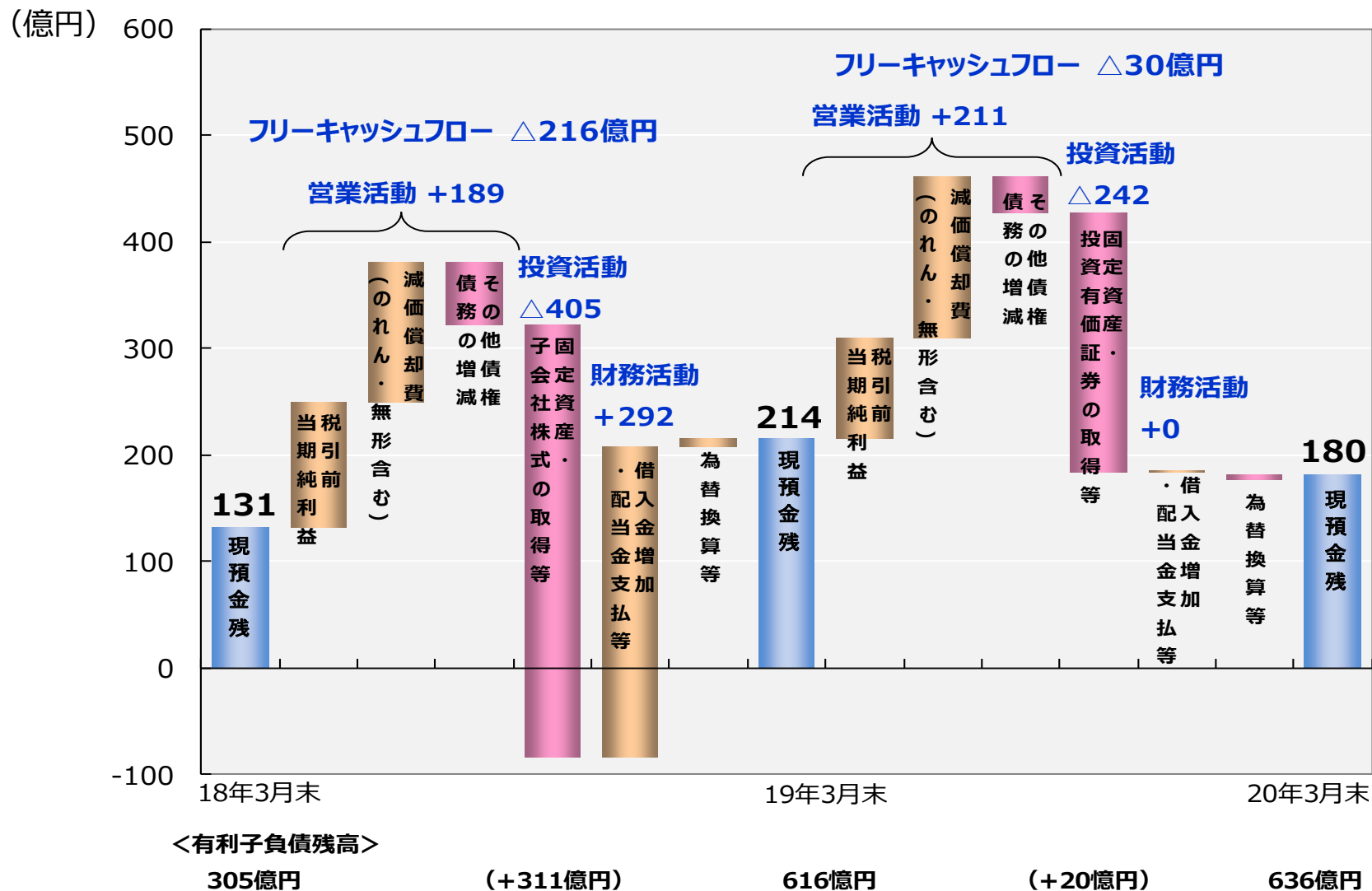
冷間超ハイテン用大型プレス
(日・米・中・台・タイ)

ホットスタンプ (日・米)

他、新規製品立上げのための投資等

1-11 連結キャッシュフロー

フリーキャッシュフローは▲30億円



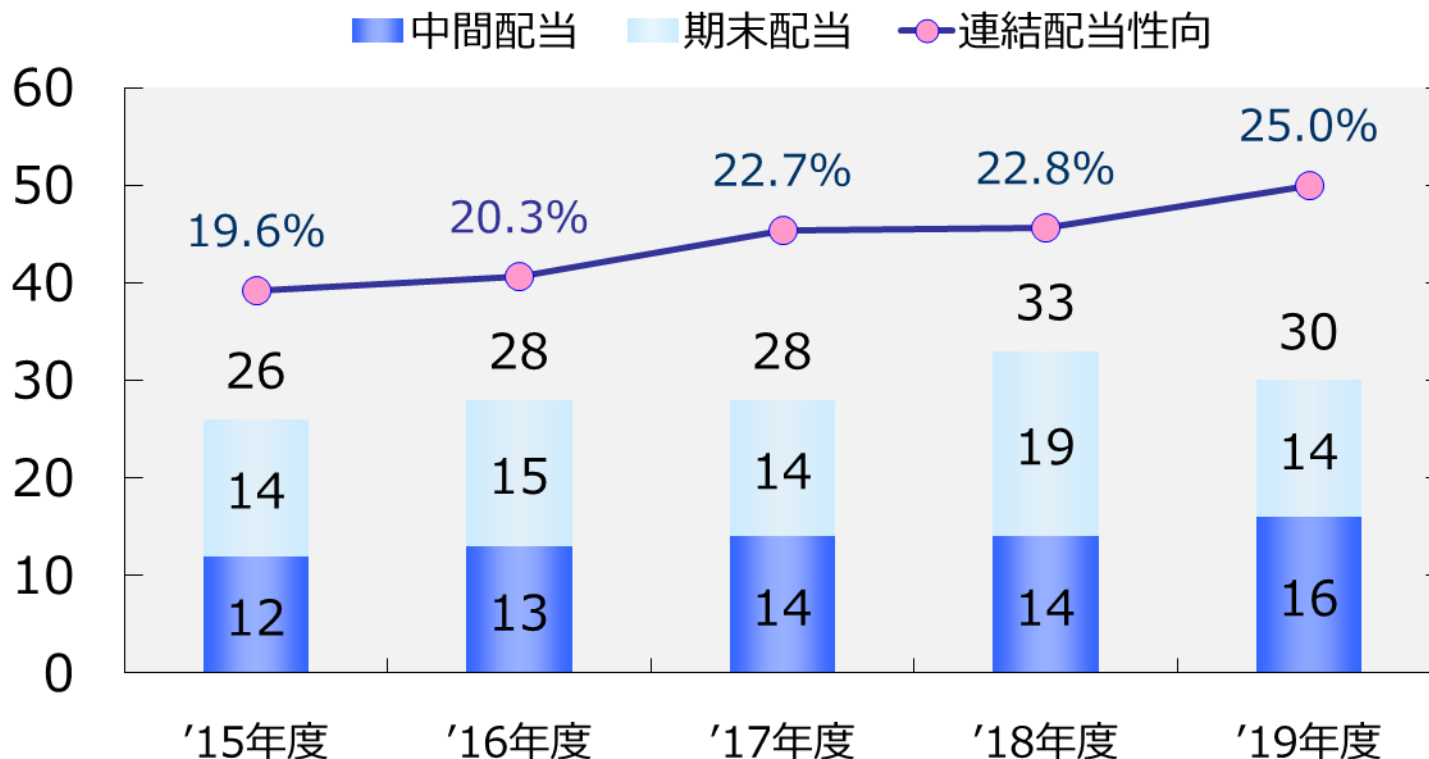
1-12 株主還元

配当性向は上昇、20年度は未定

■ 年間配当

2019年度予定 年間：30円（中間：16円 期末：14円）

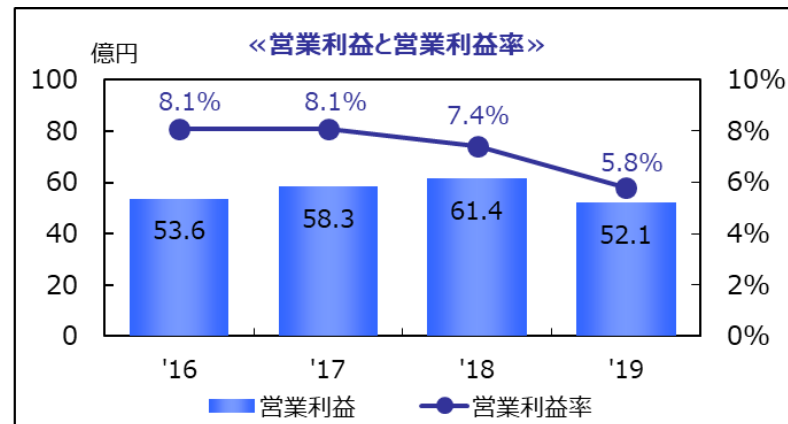
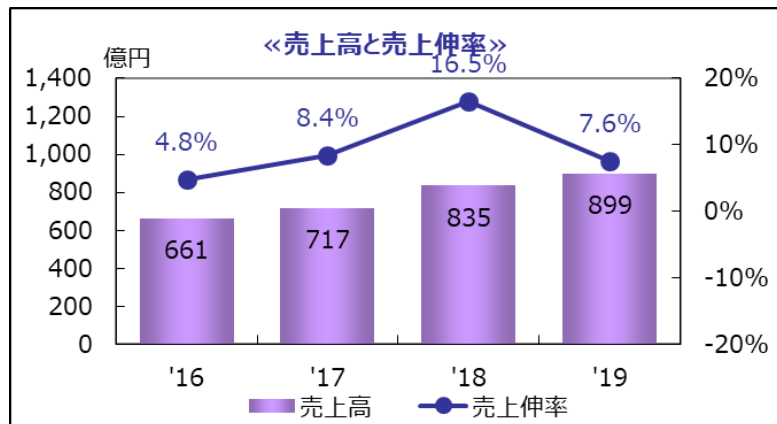
2020年度予定 未定



1-13 <参考> 個別業績実績

[百万円]

		18年度	19年度		
			実績	前期比	
				増減	増減率
売上高	過去最高	83,562	過去最高 89,901	6,338	7.6%
営業利益	過去最高	6,146	5,212	△934	△15.2%
経常利益	過去最高	7,871	7,370	△501	△6.4%
当期純利益	過去最高	5,895	4,038	△1,856	△31.5%
配当金（1株当たり）		33	30	△3	△9.1%
売上営業利益高率		7.4%	5.8%	△1.6%	
ROE		8.3%	5.5%	△2.8%	
ROA （営業利益ベース）		4.5%	3.4%	△1.1%	
一株当たり 純資産	（円）	1,191	1,208	16	



1. 2019年度実績
2. 新型コロナウイルスに対する取組み
3. 中長期戦略の取組み

2-1 新型コロナウイルス対策

**感染防止・生産体制維持を第一義に
GLOCALに足元固め**

■ 感染防止

- ・社員と家族の健康管理を国内外で実施
- ・3密を避ける対策の実施

■ 雇用・サプライチェーンの維持

- ・休業制度・公的資金を活用し雇用維持
- ・仕入先とのコミュニケーションを実施

■ 変動に合わせた生産体制

- ・グローバルでの相互補完、供給リスク低減
- ・発症を前提としたシミュレーション

2-2 新型コロナウイルス対策

**感染防止・生産体制維持を第一義に
GLOCALに足元固め**

■ 先行きを見据えた資金マネジメント

- ・グループ全体で資金管理
- ・銀行とのコミットメントラインを設定

■ GLOCALに社員・家族・地域と連携

- ・行政と緊密に連携
- ・社内行動ガイドラインの策定と徹底、絆を深める

1. 2019年度実績
2. 新型コロナウイルスに対する取組み
3. 中長期戦略の取組み

3-1 短期対策から中長期への戦略

スピードアップ・優先順位付け

- コスト圧縮・スリム化
- 事業構造改革
- ものづくりは人づくり

3-2 プレス・樹脂事業の取組み

ワンランクアップの軽量化と構造解析技術の強化

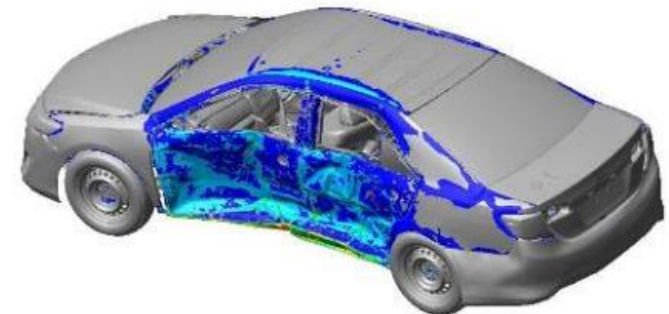
■ 軽量化技術の成形領域拡大

- ・1470MPa材の冷間成形技術・量産技術開発
- ・ホットスタンプ成形技術の拡充
- ・アルミ摩擦攪拌接合（FSW）活用拡大
(※)FSW : Friction Stir Welding
- ・エンジン周辺樹脂部品の軽量化



■ 衝突解析技術の開発

- ・アセンブリ状態での衝突解析モデル構築
- ・最適構造・コスト低減



3-3 バルブ事業の取組み

Schraderとのシナジー創出と技術の多様化

■ シナジー活動

- ・生産：徹底した原価低減策の共有
- ・開発：新製品開発のスピードアップ
- ・販売：販路拡大で事業基盤形成



■ 鍛圧プレス：複合技術で強度アップと軽量化

- ・板金成形と冷間鍛造を複合した新工法の開発

■ ダイカスト：軽量化と高精度化

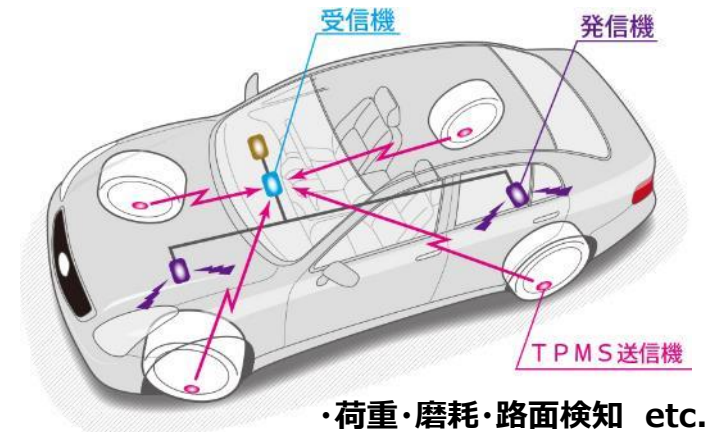
- ・カーエアコン用コンプレッサー部品の一貫生産体制を構築

3-4 コア技術の深化による機能開発

機能の深化と適用

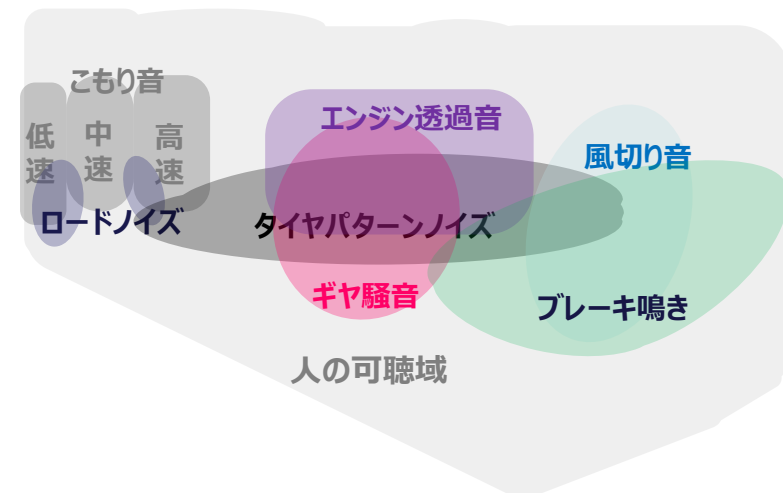
■ TPMS技術の深化

- ・次世代機能・製品開発
- ・センシング技術・無線技術の応用



■ 樹脂 防音・防振技術の適用

- ・NVH技術の深化
- ・EVモーターノイズ、欧州騒音規制



(※)NVH性能 : Noise(騒音)、Vibration(振動)を低減し、Harshness(乗り心地)を向上する性能

3-5 IoT・AI活用の取組み

ビッグデータ活用

■ 設備・金型故障未然予知システム

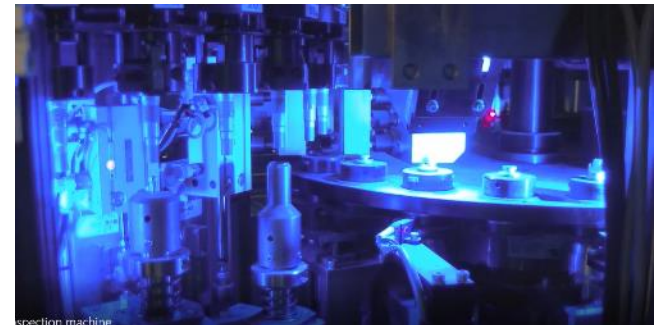
- ・荷重・たわみ・振動等をAIで分析
- ・故障・製品不良の未然予知



金型故障予知システム

■ 画像検査システム導入

- ・外観検査の自動化・インライン化
- ・検査データ（ビッグデータ）を
構造解析に活用



画像検査の様子

3-6 中長期に向けて

ブランドスローガン

思いをこめて、あしたをつくる

～Passion in Creating Tomorrow～

PACIFIC GLOCAL VISION

- ・持続的成長を目指す
- ・ものづくりは人づくり
- ・ステークホルダーとの共有



